



ひと、くらし、みらいのために

宮城労働局

Miyagi Labour Bureau

<https://isite.mhlw.go.jp/miyagi-roudoukyoku/>

Press Release

令和4年11月8日(火)
宮城労働局職業安定部職業安定課
職業安定課長 齋 和彦
職業安定課長補佐 本田 淳一
電話 022(299)8061

報道関係者各位

－ ハローワークのマッチング機能に関する業務の評価・改善の取組について －

【概要】

- 令和3年度の実績及び目標達成状況をお知らせいたします。

厚生労働省では、全国ハローワークの機能強化を図るため、従来の目標管理・業務改善を拡充し、マッチング機能に関する業務の総合評価を行い、サービスの質の向上を図るとともに、就職支援の強化に取り組んでまいりました。

宮城労働局管内のハローワークにおける、重点的に取り組んだ事項、業務改善を図った事項、指標ごとの実績については、「就職支援業務報告」とおりです。

※令和3年度における変更点

- ・ハローワークごと、業務ごとに設定する目標値に代えて、過去3年度における当該項目の実績との対比により進捗管理。
- ・グループごとの相対評価は行わず、ハローワークごとに自所の過去実績との比較により、所長が当年度の取組結果について分析を行う。

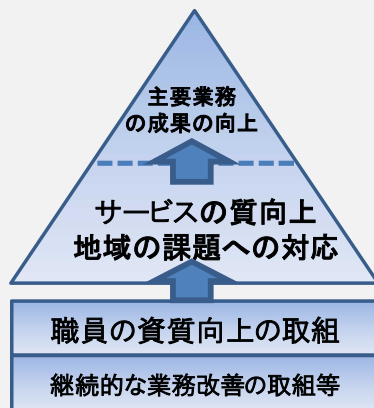
今年度におきましても、継続的な業務改善に取り組み、求人者・求職者サービスの向上に努めてまいります。

ハローワーク総合評価について

- 平成27年度から、目標管理・業務改善の取組拡充等を柱とする「ハローワーク総合評価」を開始。
- 例年、すべてのハローワークにおいて業務毎に目標値を設定し、その達成状況等に応じた4段階の相対評価等を実施。次年度以降の業務改善に繋げる。また、取組状況や評価結果は公表し、審議会（労働政策審議会（本省）や地方労働審議会（労働局））にも報告。
- （1）目標管理、（2）実績公表・相対評価、（3）評価結果に基づく業務改善といった一連の流れを続けることにより、サービスの質の向上に向けた取組を継続的に実施。

（1）PDCAサイクルによる 目標管理・業務改善の拡充

- ・ 従来の取組（就職率等の**主要指標**に基づくPDCAサイクルによる目標管理）を拡充し、
 - ① 業務の質に関する**補助指標**
 - ② ハローワーク毎に、地域の雇用の課題を踏まえ重点とする業務に関する**所重点指標**
 - ③ 中長期的なマッチング機能強化のため、職員の資質向上や継続的な業務改善の取組を推進する評価項目である**所重点項目**を加え、総合的な観点から目標管理を実施。



短期的な成果の向上だけでなく、
中長期的な成果の向上・業務改善を図り、
マッチング機能を強化

（2）ハローワークのマッチング機能の 総合評価・利用者への公表

- ・ 業務の成果を毎月公表
→ 各労働局が所管ハローワークの主要指標の実績を毎月公表
- ・ 年度終了後、業務の成果（主要指標・所重点指標）や質（補助指標）、職員の資質向上・業務改善の取組（所重点項目）の実施状況を踏まえ、ハローワーク毎に総合評価を実施。
→ 労働市場の状況や業務量が同程度のハローワークを11グループに分け、同一グループ内で相対評価
- ・ ハローワーク毎に総合評価結果及び業務改善の取組等をまとめ、各労働局が公表。



重点的に取り組んだ事項、業務改善を図った事項、業務改善が必要な事項、総合評価、基本統計データ、指標ごとの実績及び目標達成状況などを公表

- ・ 総合評価結果を、労働局は地方労働審議会、本省は労働政策審議会に報告。

（3）評価結果に基づく 全国的な業務改善

- ・ ハローワークのマッチング機能の強化を図るため、評価結果をもとに、本省・労働局による個別のハローワークへの重点指導や好事例の全国展開を実施
 - ① 評価結果に基づき、本省から、労働局・ハローワークに対する問題状況の改善指導
 - ② 一定の基準に該当するハローワークは改善計画を作成、本省・労働局が重点指導
 - ③ 相対的に高評価であったハローワークにおける取組事例を全国展開

次年度以降も
(1)~(3)を実施

※令和3年度は、コロナ禍の影響を踏まえつつ実施方法を一部変更

ハローワーク仙台 就職支援業務報告（令和3年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

① 各指標に対する取組

新型コロナウイルス感染症の影響により来所をためらう求職者が多いことから、オンラインを活用したハローワークサービスの提供が重要と考え、求職者マイページの開設増に取り組みました。特に、5月からは所独自のリーフレットを作成し、新規求職申込者だけではなく、すべての求職者に対して相談時に開設のメリットを説明のうえ手交しマイページの確実な開設を働きかけました。その結果、令和3年4月末時点で1,600件であったマイページ登録者が令和4年3月末では16,362件と大きく伸ばすことができ、オンラインによる求人情報の提供のほか、オンラインハローワーク紹介を積極的に行いました。

感染対策を徹底し面接会や各種イベントを積極的に実施しました。特に就職氷河期世代支援コーナーでは求職者の様態に合わせ「面接準備セミナー」、「応募書類の書き方セミナー」、「ステップアップセミナー」、「個別面談会」等のイベントを実施しました。参加予定数を超える申込みがあり、受講者からは高い評価をいただき、990件の正社員就職につながりました。

② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

若手・中堅職員を中心として「紹介研修部会」を立ち上げ、職員の職業相談技法向上を図ることを目的として、仙台所及び出先機関も含むすべての職業相談業務担当者（一部若手紹介業務未経験者）を対象とした事例検討研修を実施しました。参加者からは様々な視点から検討・意見交換したことが参考になった等の感想があり、求職者の支援方法について学習・再発見など成長をもたらす取組となりました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

新型コロナウイルス感染予防のためハローワークへの来所をためらう求職者も多いことから、情報発信の場である仙台所ホームページを見やすく、利用しやすいようにバナー形状の統一化、スマートフォンやタブレットに合わせた画面サイズの最適化、スライドバナーを導入して重要情報をトップ画面からお知らせできるよう見直しを図りました。

（3）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

令和3年9月のハローワークシステム刷新を受け、オンラインの利便性を活用し、積極的な情報提供や紹介を強化させると共に、職員の職業相談技法向上による相談の充実化やイベント・面接会の積極的実施等来所メリットも併せて周知し就職支援に取り組んでいきます。

ウィズコロナからアフターコロナ時代への変化に伴い、企業の労働力不足が懸念されることから、これまでも取り組んできた充足検討会議、リフレッシュ求人等の求人充足に係る取組の強化や、新型コロナウイルス感染症の影響を強く受けた非正規雇用の方々などへの職業訓

練や再就職支援にもこれまで以上に強化していきます。

(4) その他業務運営についての分析等

令和元年度以降、ハローワークの役割である「求人者と求職者のマッチング」支援については、新型コロナウイルス感染症により来所者の大幅な減少のほか、イベントの中止や開催形式の変更など、これまでに経験したことのない業務運営でした。そのような中でハローワークシステムの刷新があり、オンラインによる求人・求職の受理、職業紹介などができるようになりました。様々な変化の中でハローワークは「誰のためにあるのか」「何をすべきか」を常に問い続け、基本業務を丁寧に、状況に応じて工夫して業務運営を図っていきます。

2 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険 受給者 早期再就職 件数	紹介率	障害者の就 職件数	就職支援ナ ビゲーター の支援によ る正社員就 職件数	ハローワー クの職業紹 介により、正 社員に結び ついた就職 氷河期世代 の不安定就 労者・無業 者の件数	ハローワー クの職業紹 介により、正 社員に結び ついたフリー ターの件数	マザーズハ ローワーク 事業におけ る担当者制 による就職 支援を受け た重点支援 対象者の就 職率	正社員求人 数(必須指 標)	正社員就職 件数(必須 指標)	人材不足分 野の就職件 数	生涯現役支 援窓口での 65歳以上の 就職件数
令和3年度実績	11,095	13,717	5,138	111.6%	1,052	2,809	990	1,099	94.4%	63,085	4,926	2,871	369
過去3年度平均	12,815	15,708	5,647	131.0%	953	3,223	712	988	94.0%	64,484	5,977	3,053	266
R2年度実績	11,196	13,651	4,805	122.1%	926	3,194	712	988	94.0%	55,006	5,004	2,848	331
対R2比	99%	100%	106%	91%	113%	87%	139%	111%	100%	114%	98%	100%	111%
R1年度実績	13,198	16,242	5,905	135.0%	958	3,384			95.1%	66,542	6,163	3,257	294
対R1比	84%	84%	87%	82%	109%	83%			99.0%	94%	79%	88%	125%
H30年度実績	14,052	17,232	6,231	134.5%	974	3,090			92.2%	71,905	6,763		174
対H30比	78%	79%	82%	82%	108%	90%			102.0%	87%	72%		212%

※ 令和3年9月以降の実績は、就職件数は「(従来の)紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足件数は「(従来の)紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人の充足件数の合計となっている。

ハローワーク石巻 就職支援業務報告（令和3年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

① 各指標に対する取組

当所では、人材不足企業に対する充足支援業務を最重要と考え、自治体と連携し事業所説明会・就職面接会を開催しました。新型コロナ感染予防への配慮から、開催回数は4回に留まりましたが、参加求職者は完全予約制とするなど工夫の上開催しました。参加した事業所及び求職者からは、「直接話せる貴重な機会である」とのお声もいただいております。また、働き方改革推進を目的とした企業向けセミナーも自治体と連携の上1回開催しております。

その他、雇用保険受給者の早期再就職のため、年度当初より集団指導を実施しました。県内のハローワークの中ではいち早く雇用保険説明会を再開し、早期再就職のメリットをお伝えするとともに、雇用保険受給者の方に対しては、所独自で開催したセミナーへの参加をお勧めし、受給手続きでご来所の際には毎回職業相談を行っていただくことにより早期再就職を目指しました。

② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

当所では、職員の質の向上のため、全職員を対象に労働法に関する研修や、職業相談部門においては応募書類の作成支援やキャリアインサイトの活用演習、若手職員を対象とした就職支援のためのアセスメントツール活用に関する研修を実施しました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

緊急事態宣言等の期間もあり、求人開拓を目的とした事業所訪問の機会が大幅に減少しました。そのため、求人内容の充実や求人条件の緩和について、電話等により働きかけをしました。求人内容の充実や、条件緩和の働きかけの内容を平準化するため、求人採点基準表を作成し充足に向けた提案を行いました。

所内において、求人部門と紹介部門が求人充足に向けた対面での会議を開催出来ない中で、内容が充実した求人、条件緩和が図られた求人については、部門間で事業所情報を共有し、相談窓口において積極的に求職者に情報提供しました。

所のホームページにおいては、求職者がパソコンやスマートフォンから求人検索がしやすいようバナーを作成する、視覚的に見やすいよう配色や配置を工夫するなどの改良を行いました。

（3）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

感染予防のため実施できなかった事業所訪問に積極的に取り組みます。事業所において働いている従業員の様子、具体的な作業内容等の画像を収集し、積極的に求職者へ提供していきます。

また、事業所訪問を全職員の取組とし、事業所情報を収集、共有することにより就職及び充足支援に努めます。

(4) その他業務運営についての分析等

高齢者及び新規学卒者の就業機会の確保のため、自治体と連携の上求人確保に努めるほか、高齢者のハローワークインターネットサービスの活用に向けた「スマホ講座」を開催し、応募書類の作成・面接対策なども加えるなどの就職支援を行いました。

反面、これまで取り組んでいた事業所見学会等のイベントについては、感染予防の観点から開催を見送るなど制約の中で業務を行わざるを得ず、業務指数は従前を下回る結果となりました。

2 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	紹介率	生活保護受給者等 の就職率	ハローワークの職 業紹介により、正 社員に結びついた 就職氷河期世代の 不安定就労者・無 業者の件数	マザーズハローワ ーク事業における 担当者制による就 職支援を受けた重 点支援対象者の就 職率	正社員求人数 (必須指標)	正社員就職件数 (必須指標)
令和3年度実績	3,114	2,930	899	117.5%	72.2%	182	92.5%	10,104	1,617
過去3年度平均	3,621	3,405	940	130.0%	68%	87	93	10,906	1,914
R2年度実績	3,219	3,119	832	125.2%	72.4%	87	92.6	10,360	1,701
対 R2 比	96%	93%	108%	93%	99%	209%	99%	97%	95%
R1年度実績	3,733	3,437	1,006	131.5%	68.5%		92.7%	11,019	1,961
対 R1 比	83%	85%	89%	89%	105%		99%	91%	82%
H30 年度実績	3,912	3,659	981	133.2%	62.9%		92.6%	11,338	2,079
対 H30 比	79%	80%	91%	88%	114%		99%	89%	77%

※ 令和3年9月以降の実績は、就職件数は「(従来の) 紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足件数は「(従来の) 紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人の充足件数の合計となっている。

ハローワーク塩釜 就職支援業務報告（令和3年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

① 各指標に対する取組

当所は、日本屈指の観光地「日本三景松島」と（特定第三種）塩釜漁港背景地に本県屈指の水産加工団地を有していることから、観光業（ホテル・飲食店等）と水産加工食料品製造業が基幹産業となっています。しかし、コロナ感染症の拡大による外国人の入国制限と国内の人流抑制から観光業は休業を余儀なくされ、また、製造業は技能実習生不足が発生しました。そこで、基幹産業の安定した事業継続を支援し、労働者の雇用維持と人手不足分野の早期求人充足を重点課題と位置付け、雇用調整助成金等のコロナ感染症の影響を受けた事業主等に対する各種助成金の早期支給と関連する支援制度の周知、人手不足分野に対する求人・求職のマッチングの効果的な推進、職業訓練の積極的な受講勧奨などに取り組みました。

上期においては、雇用調整助成金等の支給申請が1,031件あり、常に1週間以内に労働局に回送し早期支給に努めました。企業担当者・求職者からは「支給申請後、助成金を早く処理してもらい助かった。」などのお声をいただきました。下期においては、助成金等の支給申請が844件あり、上期同様1週間以内に労働局に回送しました。また、人手不足分野の求人事業所説明会を7回開催し、63人の参加者に対し3人の採用がありました。更に、以前から行っていた求人者担当制の内容を見直し、求人受理時の求人票作成アドバイスや未充足時の求人要件緩和指導に加え、求人受理後1～2週間経過し応募のなかった求人者担当制求人を、求人充足会議の対象に加え、求人部門と職業紹介部門が連携して充足支援を行うことで、一層マッチングの精度を高められるようになり、対象求人数59人に対し、17人の採用がありました。本取組は、求人者サービスに加え職員等のマッチングに対する知識・技能の向上にもつながっています。

② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

当所は、50歳以上の幹部職員の下は30歳代の一般職員となっており、知識・技能に大きな差が存在しています。そこで、若手職員が今後中堅職員として業務を推進していくために必要とされる「資質の向上」を図るため、一方的（受動的）な研修による知識習得ではなく、自主的（能動的）な思考力と実行力を身に付けることが出来る「人材育成研修」を7回実施しました。具体的には、「①知識の習得」⇒「②能動的な活動」⇒「③成果の発信」⇒「④検証」をテーマとした自主研修を行い、①～③までの研修の中で見つけた課題を検証し（④）、新たな知識の習得（①）へとつなげ、それをスパイラルしていきます。また、庶務課長が行っていたファシリテーターを、研修中盤から研修者の年長者に任せ、研修会を運営し管理することも学ばせました。参加者からは、「能動的に皆で話し合い・考え・実行していくこと通じて、意見を出し合い纏めていく力」「一つのことを最初から最後まで成し遂げる力」「発信（説明）力」「相手に理解してもらおう説明力」等々が少しずつ身に付いてきたという意見がありました。効果としては、一人ひとりが、回数を重ねる度に自主的に掲示物の見せ方を工夫するなどの気付きが生まれ、能動的に業務へ取り組んでいく姿勢が感じられています。これらのことから、次年度も本研修を継続していくこととしています。

(2) サービス改善・業務改善を図った事項

ハローワーク（HW）の利用方法が令和2年1月1日のシステム刷新、令和3年9月の第2弾、令和4年3月の第3弾の追加機能リリースによるオンラインを活用した新たな機能が拡充されたことで、HW I S（ハローワークインターネットサービス）を活用することでHWに来所しなくてもこれまでと同じサービスを受けることが出来るようになりました。それにより、今後はHWへ来所した際に提供していたHW情報（イベントや支援制度等）の周知が十分行えなくなることが懸念されたため、新たな周知方法としてHP（ホームページ）の活用が最も効果的と判断し、閲覧数の増加を目指しました。そこで、HPがHW I Sを含めた各種情報入手の入口となるよう、バナーの貼り付けやHW I Sでは面倒な検索方法を「ワンクリック検索」で簡略化するなどのHPの利便性の向上を図り、閲覧数が激増しました。結果として、当初の目的どおり皆がHPを経由することとなり、HPトップにHW情報を貼付することで十分な周知効果を得ることが出来ました。この「ワンクリック検索」は、県内はもとより県外のハローワークからも多くの問い合わせがきています。また、「ワンクリック検索」の利用が進むにつれて（肌感覚ではあるが）、求人票を持参して来所する求職者が増加しており、職業相談窓口で「求人検索機の操作法がわからない」と言って一緒に求人検索をする時間が減っていることから、質の高い職業相談・職業指導が行えるようになっていきます。

(3) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

コロナ禍による三密防止及びHW I Sのオンライン機能の充実等によってHW離れが進みつつある中、コロナ感染症の影響で中止されていた、職種セミナーや就職面接会等の再開、履歴書や職務経歴書の作成指導、模擬面接会の開催などによりHWの支援が必要とされる求職者の呼び戻しを行い、きめ細やかな職業相談と的確紹介により安定して長期間働くことのできる職業選択等の支援に取り組んでいきます。

基幹産業及び人手不足分野に対する求人充足サービスについては、求人者担当制及び求人検討会議、求人部門と紹介部門が連携して事業所を訪問することを計画しており、今後定期的に求人事業所説明会を開催することを予定しています。

(4) その他業務運営についての分析等

当所管内は、仙台市の北東部に位置しており、JR仙石線又は自家用車により60分以内で通勤できることから、仙台市内での就職を希望している求職者が多く、求人充足率が低くなっています。今後は、管内求人への充足を重点的に取り組んでいくため、事業所訪問による求人条件要件緩和の働きかけ、事業所説明会及び面接会の開催、事業情報のHPへの掲載などを行っていきます。

2 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	紹介率	障害者の就職件数	紹介により正規雇用 に結びついた氷河期 世代等の件数	正社員求人数 (必須指標)	正社員就職件数 (必須指標)
令和3年度実績	1,949	1,389	739	107.7%	117	143	4,853	886
過去3年度平均	2,212	1,568	806	124.0%	132	190	5,332	1,056
R2年度実績	1,896	1,430	688	114.7%	107	190	4,787	896
対 R2 比	103%	97%	107%	93%	109%	75%	101%	98%
R1年度実績	2,276	1,554	832	131.9%	141	—	5,418	1,054
対 R1 比	85%	89%	88%	81%	82%	—	89%	84%
H30 年度実績	2,464	1,719	899	123.9%	149	—	5,791	1,218
対 H30 比	79%	80%	82%	86%	78%	—	83%	72%

※ 令和3年9月以降の実績は、就職件数は「(従来の) 紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足件数は「(従来の) 紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人の充足件数の合計となっている。

ハローワーク古川 就職支援業務報告（令和3年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

①各指標に対する取組

・当所では、「就職件数」、「充足数」、「雇用保険受給者の早期再就職」の目標達成を最重要と考え、よりマッチングの数を増やすため、職業相談時には各求職者の方のニーズを的確に把握することを心がけ、丁寧な職業相談を行ってまいりました。また、支援を必要とする方には求職者担当者制の実施や、雇用保険受給者の方に対してはすべての認定日に職業相談を行っていただくことにより早期就職を目指しました。

・ハローワーク古川においては、特に65歳以上のパート就労を希望している求職者の方が増加傾向にあるものの、パート求人が減少しているため、パート求人の確保に努めることと、生涯現役窓口における高年齢者のマッチング対策として、過去に65歳以上の採用実績のある事業所の求人票をまとめたファイルを活用するなど、より就職につながる可能性の高い情報提供を行えるようにすることで、効果的なマッチングの促進を図りました。

②中長期的な職員の資質向上に向けた取組

当所では、中長期的な職員の育成を図る観点から、若手職員を中心に、ハローワークの職業相談等において必要となる知識向上のための研修や、目標達成に向けた必要な取組等について研修を実施しました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

・雇用保険受給者の早期再就職促進については、おおむね54歳までの就職氷河期世代の雇用保険受給者を対象とした、新たな就職支援セミナーを開催し、応募書類の書き方や、面接対応に関するノウハウの習得を目指し、早期再就職に向けて支援を行いました。

・職業訓練については、イメージキャラクターを使用した親しみやすい掲示や、実施エリア毎にリーフレットを配置するなど工夫を図り、職業訓練の受講者数増加を図りました。

（3）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

人手不足分野（警備、看護、介護、建設、保育、運輸）の事業所支援については、各自治体や関係機関と連携し、面接会等の開催により人材の確保に努め、所内で個別に開催（毎月第2、4木曜日）している求人事業所説明会においては、人手不足分野の事業所を中心に選定を

行い、充足に向けた支援に取り組みます。

(4) その他業務運営についての分析等

ハローワーク古川においては、65歳以上の求職者の方の約70%がパート就労を希望している一方で、パート求人が昨年に続き今年度も減少してしまったことから、引き続きパート求人の確保が当所における課題となっています。そのため、正社員求人の確保と併せ、パート求人の確保についても積極的に取り組む必要があり、高年齢者の就職促進を図ることで、全体の就職率の改善を目指します。

2 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	紹介率	ハローワークの職業 紹介により正社員に結 びついた就職氷河期 世代の不安定就労者・ 無業者の件数	マザーズハローワーク 事業における担当者 制による就職支援を 受けた重点支援対象 者の就職率	正社員求人数 (必須指標)	正社員就職件数 (必須指標)
令和3年度実績	2,342	2,111	690	90.8	175	94.1	6,851	1,141
過去3年度平均	2,892	2,505	831	120.0	102	93.1	6,808	1,434
R2年度実績	2,445	2,185	719	104.8	102	94.3	6,122	1,171
対 R2 比	95%	96%	95%	86%	171%	99%	111%	97%
R1年度実績	3,018	2,577	899	126.8%		92.7	6,915	1,461
対 R1 比	77%	81%	76%	71%		101%	99%	78%
H30 年度実績	3,212	2,752	875	127.9%		92.2	7,386	1,670
対 H30 比	72%	76%	78%	70%		102%	92%	68%

※ 令和3年9月以降の実績は、就職件数は「(従来の) 紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足件数は「(従来の) 紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人の充足件数の合計となっている。

ハローワーク大河原 就職支援業務報告（令和3年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

①各指標に対する取組

ハローワークの職業紹介により正社員に結びついた就職氷河期世代不安定就労者・無業者の件数の向上に重点的に取り組むこととし、当所では、コロナ禍ではできなかった対面でしごとのミニ相談会、面接会、職種セミナー、職業訓練説明会を実施しました。ミニ相談会は47回、面接会は6回、セミナーは3回、職業訓練説明会は7回開催しました。

②中長期的な職員の資質向上に向けた取組

・当所では、中長期的な職員の育成を図る観点から、若手職員が労働局開催のキャリアコンサルタント研修を受講し、職業相談の知識や技法を学びました。その後、一般職業紹介の窓口研修を行いました。加えて雇用指導官または求人支援員と事業所訪問及び工場見学を実施し事業所訪問における雇用指導や求人受理について学び、求人募集から採用に至るまでを研修しました。

・職員、相談員への資質向上のため求人専門援助部門、職業相談部門の職員・相談員へハローワークシステム刷新について所内研修を行いました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

・しごとのミニ相談会、面接会、職種セミナー、職業訓練説明会の周知方法としてイベントカレンダーを作成しました。イベントカレンダーをご覧になった求職者の方からの参加申込みをいただいたり、求人事業所からも相談会実施をしないと参加申込みを頂きました。

・職業訓練の周知・広報の所内掲示の見直しを行い、白石高等技術専門校の訓練説明会を再開し、求職者への発信の機会を増やしました。受講前に訓練校からは職業訓練に興味のある方へ直接個別に説明できてありがたいという意見や、求職者からは職業訓練コースの内容や取得できる資格について詳しく聞くことができ、受講を決めたというご意見も頂いています。

・60歳以上の高齢求職者が応募できる求人が少ないため、求人部門と紹介部門の定期的な打ち合わせを行っています。求職者の希望が多い職種やニーズ等を共有し、求人開拓等を実施しました。また、庁舎入口の外のホワイトボードに60歳以上応募歓迎求人を掲示しました。PC操作が苦手とする求職者向けに求人早見シートをファイリングし所内に配架し、高齢求職者向けの情報発信を充実させています。求職者からは求人票が見やすいと意見をいただいております。

(3) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

・しごとのミニ相談会、面接会、セミナー、職業訓練説明会の周知をより一層広げるため、イベントカレンダーをハローワーク大河原のホームページに掲載する取組を開始する予定です。この取組により、参加者増加の効果を見込みます。

さらに、ミニ相談会を実施する事業所へ、先輩からのメッセージを募集し、所内へ掲示します。求人票以上の情報の提供を行って応募の促進をしていきます。

(4) その他業務運営についての分析等

令和元年度に台風 19 号の影響による甚大な被害を受けた事業所が当所管内に多数あり、台風 19 号の影響がある中で令和 2 年度に入り、新型コロナウイルスの影響で当所管内の主要産業である自動車関連製造業は、世界的な半導体供給問題によりメーカーからの生産の減産やコロナ感染拡大に伴い海外からの部品調達が滞り生産が出来ない影響がありました。食品製造業はコロナ禍により、観光地における観光客数の減少、県を跨いでの外出自粛、駅、空港、高速道路利用客の減少、自粛による休業・営業時間短縮の影響によりお土産の菓子製造の減産がありました。製造業関連事業所はロックダウンの影響で海外からの部品調達が不足し減産、生産数及び生産計画の減少がありました。そのため雇用維持を選択した事業所からの新たな求人募集が出ない状況が令和 3 年度も引き続いていました。そのため求人数が減少傾向となりました。

しかし、新型コロナウイルスの影響による衛生用品受注増加があった事業所からは正社員求人を受理しました。また、ハローワーク大河原での現地選考面接会を実施しました。参加者の中から採用していただき、雇用に結びつける事が出来ました。

2 特記事項

ハローワークの職紹介により正社員に結びついた就職氷河期世代不安定就労者・無業者の件数

求職受理時等相談の際、対象者を把握した場合は、アルバイト就労等も含め経験した職種・業務等をきめ細かく聞き取り、相談記録を充実させることにより精度の高いマッチングができるよう取り組みしました。過去 3 年の平均数より 61 件多く就職することができました。

正社員求人数

正社員求人への転換が可能と思われる求人について、正社員募集のメリット等を説明のうえ正社員求人への切り替え助言を行いました。その結果、過去 3 年度平均より 106 人分多く正社員求人が確保出来ました。

3 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	紹介率	障害者の就職件数	ハローワークの職紹介により正社員に結びついた就職氷河期世代不安定就労者・無業者の件数	正社員求人数 (必須指数)	正社員就職数 (必須指数)
令和3年度実績	2,249	1,487	692	102.5%	148	223	5,173	1,096
過去3年度平均	2,649	1,664	798	122.0%	144	162	5,067	1,355
R2年度実績	2,314	1,495	694	112.0%	134	162	4,711	1,145
対 R2 比	97%	99%	99%	91%	110%	137%	109%	95%
R1年度実績	2,624	1,623	859	122.6%	151		4,966	1,327
対 R1 比	85%	91%	80%	83%	98%		104%	82%
H30 年度実績	3,009	1,873	842	131.7%	146		5,525	1,594
対 H30 比	74%	79%	82%	77%	101%		93%	68%

※ 令和3年9月以降の実績は、就職件数は「(従来の) 紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足件数は「(従来の) 紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人の充足件数の合計となっている。

ハローワーク築館 就職支援業務報告（令和3年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

①各指標に対する取組

当所では、自動車関連の製造業を中心に求人需要が堅調に推移した一方で、コロナ禍で在職中の転職希望者が就職活動を手控える動きが見られました。そのような状況を受け、管内の事業所では人材確保に対する要請が強いため、求人充足数の目標達成を最重要課題として取り組みました。そのため、分かりやすく魅力ある求人票を作成し、求人情報提供を行うだけでなく、応募者を確保する観点から事業所説明会を年間22回開催し、参加事業所22社、参加求職者数62名となりました。

また、初めての取組として一般求職者を対象とした「くりはら合同就職面接会」を栗原市と連携して開催（令和4年3月15日）し、企業25社、求職者数30名が参加し、紹介件数7件、就職件数5件の結果となり、企業側からの好評を得ました。

②中長期的な職員の資質向上に向けた取組

来所する求人者・求職者に対し、効果的かつ効率的なマッチングを行うために、職員・職業相談員全員がスキルアップの向上を図る必要があるため、具体的な事例を用いた相談技法の使い方や相談記録情報の共有を図るための研修を実施しました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

①求職者・求人者に対する業務改善の取組

当所管内の栗原市の少子高齢化の進行により、55歳以上の求職者の割合が4割を超える状況にあることから、高齢求職者の就職状況及び紹介就職の求人を分析し、求職者・求人者双方に向けて就職意欲や採用意欲を喚起する資料（リーフレット）を作成し、職業相談時、求人受理時に活用することで、高齢者の就職促進を図りました。

②求人者に対する業務改善の取組

当所では、求人申込が365日、24時間いつでも可能になる等の利便性を向上させるために、求人者マイページの開設勧奨に取り組みました。また、求人者マイページ開設済の事業所に対しては、活用方法を記載したリーフレットを作成し、求人者マイページの利用促進に取り組みました。

（3）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

①求職者に対する今後の業務改善の取組

当所管内の栗原市の少子高齢化の進行により、55歳以上の求職者の割合が4割を超える状況にあり、高齢求職者に対する支援が引き続き必要なことから、高齢求職者応募歓迎求人確保するとともに、高齢求職者に対する求人情報誌の作成や事業所説明会の開催等の取組を開始する予定です。

②求人者に対する今後の業務改善の取組

求人者マイページ開設率上昇等により、事業所との接触機会が減少していることから、職員・職業相談員による事業所訪問を実施し、事業所との「顔の見える関係」を構築するとともに、求人票以上の情報収集（画像情報を含む）を増やしていく予定です。また、事業所訪問により収集した情報を効果的に活用するために、フロア内における掲示物の仕方・見せ方を検討し、改善を図ることとしています。

(4) その他業務運営に対する分析等

令和3年度の有効求人倍率が2倍を超えるなど人材需要が高止まりで推移しており、求職者が応募したくなる魅力的な求人となるよう、求人条件緩和指導の取り組みを強化し、求職者に対する積極的な求人情報提供を実施していく予定です。

2 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	紹介率	ハローワークの職業紹介 により、正社員に結びつ いた就職氷河期世代の不安 定就労者・無業者の件数	正社員求人数 (必須指標)	正社員就職件数 (必須指標)
令和3年度実績	948	1,101	237	90.5%	72	3,662	496
過去3年度平均	1,088	1,226	296	105.0%	68	3,712	588
R2年度実績	901	1,019	239	98.6%	68	3,548	472
対 R2 比	105%	108%	99%	91%	105%	103%	105%
R1年度実績	1,150	1,312	310	107.0%		3,704	633
対 R1 比	82%	83%	76%	84%		98%	78%
H30 年度実績	1,214	1,346	339	108.5%		3,885	658
対 H30 比	78%	81%	69%	83%		94%	75%

※ 令和3年9月以降の実績は、就職件数は「(従来) 紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足件数は「(従来) 紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人の充足件数の合計となっている。

ハローワーク迫 就職支援業務報告（令和3年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

① 各指標に対する取組

新規求職者が横ばいからやや減少傾向にある中で、中高年齢層の割合が高まっていることを踏まえて、求人・求職者双方の条件緩和等に努め能動的なマッチングに取り組みました。紹介率は、113.6%と高い水準にあり、提案型マッチングを主体とした取り組みの成果であると捉えています。

また、魅力ある正社員求人の確保が重要な課題となっており、事業所訪問による積極的な求人開拓、条件緩和等を実施しました。

② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

当所では、職業紹介担当職員の職業相談技法の向上のため、積極的に労働局主催のキャリアコンサルティング研修への送り出しを行いました。

また、研修講師として、2級キャリアコンサルティング技能士資格取得者1名を送り出しました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

求人事業所説明会につきましては、コロナ禍の影響により、実施を見合わせていましたが、10月より再開をしました。

また、マッチングスキル向上を図ることを目的に、事例検討会の場を設け職業紹介担当者全員で事例を共有しスキルの向上に努め、自身が担当する就職支援にフィードバックさせ、より効果的な支援・取り組みに活かしました。

（3）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

地元企業への雇用調整助成金を活用した支援により、管内では解雇等の企業整備が極めて少なく、求職者もほぼ横ばいの状況にありました。コロナ禍の制約で、本来の取り組みができないケースもありましたが、創意工夫により求人事業所説明会の再開や雇用保険説明会の再開など、効果的な就職支援及び求人充足支援に取り組みました。

この結果として、就職件数及び充足件数ともに前年度実績と比べ増加に転じており、一定の取り組みの成果が見られたと捉えております。

また、今年度ハローワークシステム刷新が行われ、システム活用方法の周知及びメリットを説明しマイページ登録の勧奨等に所全体で取り組みました。現状では、利用者への周知や取り込みがまだまだ不足している状況にあり、システム利用促進及び効果的な活用に向けて令和4年度も重点的に取り組んでいく必要があります。

さらには、宮城労働局と登米市との雇用協定（令和4年1月14日締結）を実現出来たことから、今まで以上に、緊密な連携が図れる環境を構築できました。この雇用対策協定を基に、来年度以降は事業計画による地域に根ざし効果的な取り組みを実施し、管内事業所への就職及び地元企業への人材確保等を一層促進することで、ハローワークの就職件数、求人充足の向上にも繋げていきたいと思っております。

（4）その他業務運営についての分析等

雇用条件等（質）を意識した求人の確保、人手不足分野の業種・職種の人材確保。

オンライン紹介、求人情報及び就職支援メニュー等の情報発信力の強化等が重要であると捉えており取り組んでいきます。

2 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	紹介率	ハローワークの職業紹介 により、正社員に結びつ いた就職氷河期世代の 不安定就労者・無業者の 件数	正社員求人数数 (必須指標)	正社員就職件数数 (必須指標)
令和3年度実績	1,489	1,102	326	113.6%	147	2,654	786
過去3年度平均	1,659	1,278	381	119.0%	122	2,692	859
R2年度実績	1,417	1,114	333	113.3%	122	2,556	717
対 R2 比	105%	98%	97%	100%	120%	103%	109%
R1年度実績	1,642	1,237	407	119.7%		2,452	853
対 R1 比	90%	89%	80%	94%		108%	92%
H30 年度実績	1,919	1,484	402	124.3%		3,068	1,008
対 H30 比	77%	74%	81%	91%		86%	77%

※ 令和3年9月以降の実績は、就職件数は「(従来の) 紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足件数は「(従来の) 紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人の充足件数の合計となっている。

ハローワーク気仙沼 就職支援業務報告（令和3年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

①各指標に対する取組

○求職者情報の確実な把握と内容充実

求人・求職マッチングを促進するための基礎となる求職者情報や職業相談記録の充実を図りました。特に職務経歴と希望職種の把握を徹底することで、的確な支援メニューを選択し、提案することができました。また、ダイレクトメール・電話・求職者マイページを活用してきめ細かに求人情報の提供を行いました。

○求人部門と紹介部門の連携

求人・求職マッチングの取組を更に強化するため、「求人受理情報交換会議」を毎日開催しました。この会議には求人受理担当者と職業相談担当者が参加し、その日受理した求人に関する情報に加えてこれまで得た事業所情報や求職者ニーズを速やかに共有することで早期マッチング成立の可能性を高めました。

○雇用保険説明会の再開と早期再就職支援の強化

新型コロナウイルス感染症（以下「感染症」という。）の影響により中止していた雇用保険説明会を8月より再開しました。再開にあたっては、早期再就職のメリットと支援メニューをわかりやすく紹介するため独自の就活サポート資料を更新し、制度等の活用促進を図りました。

②中長期的な職員の資質向上に向けた取組

当所では、利用者サービスの向上と業務効率化を図る目的で求人者・求職者マイページ及び雇用保険電子申請手続きに関する所内研修を実施し、制度やサービス内容をわかりやすくご案内できるよう職員の専門性を高めました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

○情報提供ツールの改善

感染症の影響により、利用者の来所機会が減りつつあったことから、マッチング促進のための支援メニューを確実に伝えるため、情報発信方法を見直しました。

具体的には管外の求職者の方にも分かりやすく情報を提供するため、当所のホームページのレイアウトを変更し、管内の新着求人情報をボタンひとつで検索できる「求人ワンクリック検索」を導入する等、利便性の向上を図りました。

また、求人検索ページ及び当所のホームページに簡単にアクセスし情報を入手できるよう求職受付票にQRコードを表示しました。

（3）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

感染症の影響により中止や縮小を余儀なくされていたミニ企業面談会や事業所訪問等を再開するなど、求人・求職のマッチング機会を拡大することが必要であるため、双方のニーズを丁寧に把握していきます。これを踏まえ、新たな取り組みとして令和4年度から、職業相談の窓口担当者が直接求人受理の手続きを行うこととしています。職業相談の窓口担当者が求職者との豊富な面談機会に蓄積した情報等を求人者に直接伝えることで、求職者ニーズを踏まえた求人条件緩和が可能になったり、分かりやすい求人票作成につながり、マッチングに大きな効果をもたらすものと捉えております。

(4) その他業務運営についての分析等

感染症がもたらした企業へのダメージを緩和させ、継続的な事業活動ができるよう事業所訪問等により得た情報を基に、助成金の活用等必要な支援を行ってまいります。

2 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	紹介率	④ハローワークの職業紹介により正社員に結びついた就職氷河期世代の不安定就労者・無業者の件数	⑧正社員求人数 (必須指標)	⑨正社員就職件数 (必須指標)
令和3年度実績	1,381	1,281	404	98.9%	150	3,612	647
過去3年度平均	1,591	1,496	406	95.0%	62	3,602	698
R2年度実績	1,312	1,220	300	93.3%	62	3,437	621
対 R2 比	105%	105%	134%	106%	241%	105%	104%
R1年度実績	1,549	1,451	456	91.1%	-	3,453	670
対 R1 比	89%	88%	88%	108%	-	104%	96%
H30 年度実績	1,912	1,816	462	100.2%	-	3,915	802
対 H30 比	72%	70%	87%	98%	-	92%	80%

※ 令和3年9月以降の実績は、就職件数は「(従来の)紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足件数は「(従来の)紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人の充足件数の合計となっている。